

追悼のことば

本日ここに、ご遺族、ご来賓の皆様のご参列を賜り、川口市戦没者追悼式を挙行するにあたり、過去の戦争で亡くなられたすべての御霊みたまに対し、六十万市民を代表いたしまして、謹んで追悼のことばを申し述べます。

多くの方々が命を落とされた、先の大戦が終結し、七十九年という歳月が過ぎ去りました。大きく時代は流れておりますが、癒いやされることのない、ご遺族の深い悲しみと、追慕ついきほの気持ちに思いをいたすとき、今もなお、尽きることのない悲痛ひつうの念がこみ上げてまいります。

ここに戦没者の方々の、ご冥福めいふくを心からお祈り申し上げますとともに、衷心より感謝の誠を捧げたいと存じます。

最愛の肉親に先立たれたご遺族の皆様、そして戦争による心や身体からだの傷に、今も苛さいなまれている方々が、多くいらつしやいます。苦難の日々とそのご労苦ろうくに対し、深くお見舞いを申し上げます。

今日、私たちが享受きやうじゆしているこの平和と繁栄はんえいが、心ならずも戦争によって、かけがえのない命を落とされた方々の、尊とうとい犠牲の上に築かれていることを、私たちは片時も忘れてはなりません。改めて、哀悼あいとうと敬意をささげます。

世界では、イスラエルと、パレスチナのガザ地区を支配するハマスの戦闘が始まってから、まもなく一年が経とうとしておりますが、今もなお終わりは見えず、多くの尊い命が失われております。一日も早い収束を望むとともに、戦争の惨禍さんかを

決して繰り返さないこと、また、これからも歴史と謙虚に向き
合い、万人が心豊かに暮らせる世の中の実現に向けて全力を尽
くすことを、御霊みたまの前に固くお誓い申し上げます。

結びに、戦没者の御霊みたまの安らかならんことを心からお祈り
申し上げますとともに、ご遺族の皆様をはじめ、本日ご参列
いただきました皆様の、ご多幸とご健勝を心からご祈念申し
上げまして、追悼のことばいたします。

令和六年十月五日

川口市長 奥ノ木 信夫